



八女市立星野小学校 学校通信 平成29年7月7日

星のっ子だより (文責 吉田)

6月は梅雨に入ったものの雨がなかなか降らず心配していましたが、台風上陸あたりから天気がぐずつき一昨日(5日)、昨日(6日)は、星野の北、耳納連山を超えたあたり(杷木、朝倉、日田など)では、記録的な豪雨に見舞われたようです(学校はご存じのように、教育委員会の指示により台風が接近した4日大雨特別警報が出された6日は臨時休校となりました)。八女市でも平成24年7月に九州北部豪雨を体験しただけに、その恐ろしさは身にしみています。これ以上の被害がないことを祈るとともにお見舞いを申しあげたいと思います。それにしても、最近では自然災害が大規模になってきたような気がします。大雨、台風、地震等いつ起こっても不思議ではありません。日頃よりどう対処するか考えておく必要がありそうです。

教職員の研修 心肺蘇生法 6月29日

学校では毎週木曜日が校内研修の時間になっていますが、去る6月29日(木)に講師に消防署の方を招き心肺蘇生法の研修を行いました。教員は、水泳指導を行います。その際、もしものことが会った時には、命を助けるために真っ先に心肺蘇生を行う必要があります。そこで、星野小学校の子どもたちの命を守るために、PTAの研修会の前に実施した次第です。幸い少人数での研修のために、全員が実際に体験することができました。こういった研修は大切ですね。何よりも実際にやってみることが大切だと改めて感じました。



地区懇談会について(7月25日)

前述しましたように、7月4日が臨時休校になり学級懇談会、学団会、救命救急法の講習会が出来ませんでした。そこで、PTA会長の栗秋さんとの話し合いで7月25日の地区懇談会の前に救命救急法の講習会をするようになりました。学団会については、子どもたちが原案を作成していますので、地区別話し合いの中で話し合っただけだと思っています。時間が限られていますが、有意義な話し合いになればと思っています。よろしくお願ひします。

おいしいお茶のいれ方教室(3年) 7月5日



星野茶を使用して3年生がおいしいお茶の淹れ方教室を行いました。講師はJ A星野青年部の方がたです。(保護者も入られました)

まず、山口孝臣さんよりお茶の生産量や星野のお茶がおいしい理由やお茶の効用等の説明がありました。子どもたちにとっては初めて知ることも多かったようです。

子どもたちからは、お茶の値段や種類について等の質問が出ていました。紅茶とウーロン茶が同じお茶の木から出来ることを知って驚いていたようです。

その後、お湯の温度をおいしいお茶が出る温度にして、実際に星野茶を淹れて試飲しました。改めて星野のすばらしさにふれたようです。

以下、子どもの感想を載せます。

お茶の淹れ方教室の感想

3年

お茶のいれ方教室で「なるほど」と思ったことは、「ペットボトルのお茶より、やっぱりきゅうすで淹れたお茶がいい。」ということです。テレビで、「このお茶はいい。」と言っているけどやっぱりきゅうすで、しっかり淹れたお茶がいいとあらためて知りました。そして伝統本玉露は何円。」という質問がありました。そしてたら1キロ1万8千円だそうです。やっぱりそれほどのかちがあるのだなと思いました。

そして、お茶を実際に淹れてみました。

わたしはだいじょうぶかなとキンちょうしたけど

上手にできました。先生やはんのみんなから

「ひなたさん上手。」といわれました。よかったなと思いました。

お茶について、あらためて知ったことや初めて

知ったことがありました。中学一年生になったときは、

いっぱいしつもんして、たくさんのお茶のことについて

聞いたり調べたりしたいです。



【追伸】

ランチルームの入り口の所には、保護者・地域の皆様のご協力できた「がっこう茶屋」があります。いつでも星野茶を飲めるようにしていますので、学校にお越しの際は遠慮なくお立ち寄り下さい。